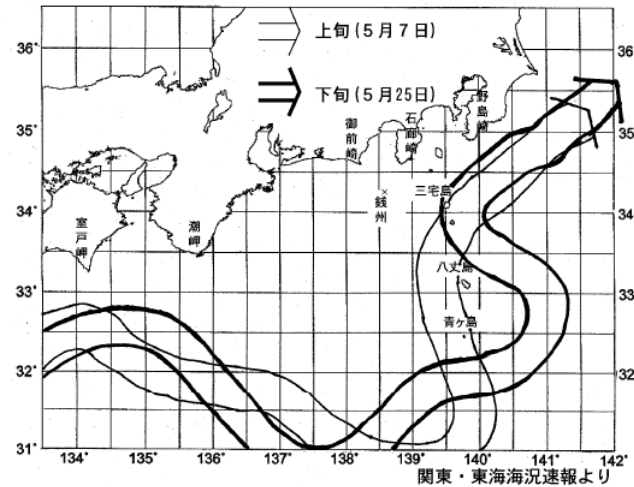


# 漁海況月報

平成30年5月1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.2	17.0	16.8	18.3	18.3	17.9
	0.2	0.4	-0.1	0.5	0.0	0.4
中旬	18.2	18.2	18.5	19.4	19.1	19.4
	0.4	0.8	0.9	0.8	0.2	1.0
下旬	19.4	19.9	19.9	20.9	20.6	20.6
	0.5	1.7	1.5	1.4	1.0	1.4
月	18.3	18.4	18.6	19.5	19.3	19.5
	0.4	1.0	0.9	0.9	0.4	1.1

\*地頭方の水温観測は終了しました。

## 【黒潮流路】

5月を通じてA型で、上旬は潮岬沖32°Nから東南東に進み、31°N、139.5°E付近から伊豆諸島沿いを北上し、三宅島の南東34°N付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、31°N、137°E付近から東北東に向かい、140°E付近から、青ヶ島の東、三宅島の南でS字状の小蛇行をしつつ北上し、三宅島付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖32°Nから南東に進み、31°N、137.5°E付近から北東に向かい、八丈島の南東141°E付近から北西に向きを変え、さらに、三宅島の東140°E付近から北東に流去した。

5月上旬後半からは、遠州灘沖の34°N付近には暖水域が見られたが、中旬には消滅した。下旬には、三宅島付近から、相模湾へ、また、駿河湾口部を経て遠州灘へ暖水波及がみられた。

## 【県下沿岸域】

5月上旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津、焼津とも「平年並」であった。中旬は、伊東、沼津「平年並」、稲取、下田、雲見、焼津「やや高め」であった。下旬は、伊東「平年並」、下田、雲見、沼津、焼津「やや高め」、稲取「高め」であった。

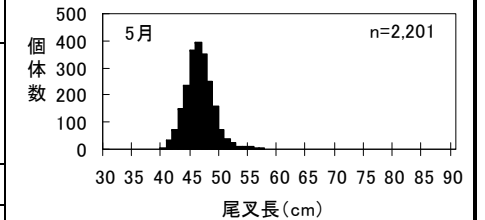
## 【竿釣りカツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は176トンで前年同月(146トン)の1.2倍であった。魚価は371円/kgで前年同月(424円/kg)を下回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部の周辺海域であり、水揚げされた魚体の主体サイズは、小(尾叉長46cmモード)、極小(尾叉長42cmモード)、中(尾叉長50cmモード)であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
30年5月上旬	77	11	7.0	315
中旬	48	14	3.4	399
下旬	51	18	2.8	430
30年5月計	176	43	4.1	371
29年5月計	146	35	4.2	424
28年5月計	231	68	3.4	507



御前崎港における尾叉長組成

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は433.8トンで前年の同漁場の水揚量(300.3トン)の1.4倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、62.0トンで前年(42.9トン)の1.4倍、平年(昭和57~平成29年の平均71.0トン)の87%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(136.6トン、さば類、マルソウダ、イサキ)、次いで川奈漁場(67.7トン、さば類、イサキ、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、さば類は316.3トンで前年比2.4倍、平年比2.5倍と好調であった。さば類のうち、マサバは131.2トンで前年比9.7倍、平年比5.8倍と前年平年を大きく上回り、ゴマサバは185.1トンで前年比1.5倍、平年比1.6倍であった。漁獲サイズはマサバもゴマサバも尾叉長30~35cm主体であった。イサキは27.1トンで前年比3.1倍、平年比5.8倍と前年平年を大きく上回った。マルソウダは22.6トンで前年比96.8倍、平年比42%であった。ブリは14.2トンで前年比21%、平年比51%、銘柄わらさ主体であった。銘柄わらさは7.9トンで前年比15%、平年比34%と低調であったが、銘柄わかしは2.0トン、前年比6.7倍、平年比75.3倍と好調であった。マアジは13.2トンで前年比1.2倍、平年比9%であった。

多獲された魚種の主な漁場は次頁(表)の通りで、さば類は北川漁場が33%(103.7トン)、川奈漁場が15%(47.9トン)、赤沢漁場が15%(46.4トン)、イサキは谷津漁場が28%(7.6トン)、北川漁場が23%(6.1トン)、赤沢漁場が22%(6.1トン)、川奈漁場が22%(5.9t)、マルソウダは北川漁場が62%(14.0トン)、谷津漁場が17%(3.9トン)、ブリは谷津漁場が38%(5.4トン)、伊豆山漁場が23%(3.2トン)、マアジは川奈漁場が34%(4.5トン)、北川漁場が18%(2.3トン)、富戸漁場が15%(2.0トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	316.3	2.4	2.5	北川、川奈、赤沢
イサキ	27.1	3.1	5.8	谷津、北川、赤沢、川奈
マルソウダ	22.6	96.8	0.4	北川、谷津
ブリ	14.2	0.2	0.5	谷津、伊豆山
マアジ	13.2	1.2	0.1	川奈、北川、富戸

## 【サバ棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は棒受網で操業し、漁場は中旬までは主に三宅、下旬は主に大室出しに形成された。水揚量はマサバ2トン(前年同月比22%)、ゴマサバ489トン(前年同月比48%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.1トン(前年同月0.3トン)、ゴマサバ17.5トン(前年同月23.5トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ99円で前年同月(72円)を上回ったが、前月(122円)を下回った。ゴマサバは98円で前年同月(91円)を上回ったが、前月(103円)を下回った。

漁獲物の体長組成は、マサバについては尾叉長33cm、ゴマサバについては尾叉長29cmにそれぞれモードを持つ単峰型であった。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
30年5月上旬	1	62	1	3	0.3	20.7	56	100	三宅
中旬	0	244	4	13	0.0	18.8	261	97	三宅、銭洲
下旬	1	183	4	12	0.1	15.2	100	99	大室出し、三宅
30年5月計	2	489	9	28	0.1	17.5	99	98	三宅、大室出し、銭洲
29年5月	11	1,009	13	43	0.3	23.5	72	91	御蔵、銭洲、三宅
28年5月	3	392	10	23	0.1	17.0	228	98	三本、三宅、銭洲

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

## 【サクラエビ船曳網】

5月の出漁日数は10日(前年同月は15日)、水揚量は165トン(前年同月626トン)で、1日1か統あたりの漁獲量は275kg(前年同月695kg)と昨年同月に比べて大幅に下回った。

主な漁場は、湾奥部(興津沖～由比沖)に形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成は、漁場、漁獲日によって異なるが体長30～35mmの群と38～45mmの2群があった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁場
30年5月上旬	29.6	2	247	由比沖
中旬	32.4	2	270	興津沖～由比沖
下旬	102.7	6	285	興津沖～由比沖
30年5月計	164.8	10	275	—
29年5月計	625.9	15	695	富士川沖～由比沖、興津沖
28年5月計	589.2	13	755	焼津・大井川沖、富士川沖
27年5月計	406.5	9	753	焼津・大井川沖

\*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

## 【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が365kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が748kgであった。平均水揚量は639kgと前年同期(965kg)の66%、平年同期(過去5か年平均:916kg)の70%であった。また、総水揚量は1,280.4トンで前年同期(2,568.2トン)の50%、平年同期(2,243.9トン)の57%と、前年同期と平年同期を下回った。平均単価は865円/kgと、前年同期(455円/kg)の1.9倍、平年同期(376円/kg)の2.3倍と、前年同期と平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	149.7	16	190	788	770
舞阪	538.0	17	675	797	823
福田	290.0	16	416	697	865
御前崎	94.1	14	152	619	839
吉田	163.9	17	321	511	983
静岡	44.8	13	250	179	1,298
平成30年5月計	1,280.4	93	2,004	639	865
平成29年5月計	2,568.2	120	2,661	965	455
平成28年5月計	1,481.6	99	2,236	663	483

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成25～平成29年)平均値

## 【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、小川港では27kg(前年同月比0.01%、平年同月比0.04%)、沼津港では142.0トン(前年同月比47.9%、平年同月比80.1%)、伊東港では178.0トン(前年同月比98.1%、平年同月比2.6倍)、静浦港では6kg(前年同月比2.4%、平年同月比12.1%)であった。カタクチイワシの水揚量は、小川港では22.1トン(前年同月比11.3倍、平年同月比1.8倍)、沼津港では15.3トン(前年同月比48.8%、平年同月比52.6%)、伊東港、静浦港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚量は、マイワシが1.8トン、カタクチイワシが3.1トンであった。

\*平年:過去5か年(平成25～平成29年)平均値

## 【調査船駿河丸の動向】

5月9日	～	5月11日	地先定線観測調査	(3日間)
5月14日	～	5月17日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(4日間)
5月22日	～	5月23日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
5月28日	～	5月29日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

